

平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 大
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理部長 (氏名) 中村 克彦 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	58,491	1.5	4,135	0.2	4,183	0.5	2,189	2.1
24年3月期第1四半期	57,648	4.2	4,129	17.1	4,163	16.9	2,143	24.0
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円	銭	円	銭				
25年3月期第1四半期	73.50		—					
24年3月期第1四半期	71.98		—					

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
25年3月期第1四半期	200,813		114,877		57.2	3,856.99		
24年3月期	197,388		113,214		57.4	3,801.16		

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 114,877百万円 24年3月期 113,214百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
24年3月期	—	17.50	—	17.50	35.00	
25年3月期	—					
25年3月期(予想)		18.00	—	18.00	36.00	

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	114,800	1.9	7,700	18.0	7,800	17.9	4,200	21.1	141.01	
通期	225,000	2.1	13,000	10.5	13,150	10.0	7,200	13.9	241.73	

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、3ページ「サマリー情報（注記事項）に関する事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年3月期1Q	29,784,400株	24年3月期	29,784,400株
25年3月期1Q	257株	24年3月期	257株
25年3月期1Q	29,784,143株	24年3月期1Q	29,784,143株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
4. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(6) 重要な後発事象	8
5. 補足情報	8
(1) 商品部門別販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要による緩やかな回復基調がみられたものの、欧州債務問題や中国を中心とした新興国の景気減速が懸念され、デフレの長期化や厳しい雇用情勢を背景とした個人消費の低迷など、景気の先行きは依然として予断を許さない状況が続いております。

家具・ホームセンター業界におきましても、異業種を含めた企業間競争の激化がさらに継続しており、非常に厳しい経営環境となっております。

このような状況の中で当社は、「お客様満足度100%」の経営理念のもと、お客様志向の徹底とお客ニーズに合った商品政策の強化をさらに継続してまいりました。

また、経営基盤の充実のため店舗展開にも取り組み、6店舗の新規出店及び1店舗の増床をいたしました。これにより当第1四半期会計期間末の店舗数は、26府県にわたり304店舗となりました。

売上高584億91百万円（前年同期比1.5%増）、売上総利益192億46百万円（前年同期比1.9%増）、売上総利益率32.9%（前年同期比0.1ポイント増）となりました。

また、販売費及び一般管理費は、新規出店の開設費用等もあり151億10百万円（前年同期比2.4%増）、対売上高比率は25.8%（前年同期比0.2ポイント増）となりました。

この結果、営業利益41億35百万円（前年同期比0.2%増）、経常利益41億83百万円（前年同期比0.5%増）、四半期純利益21億89百万円（前年同期比2.1%増）となり増収増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、最も売上構成比の高い当社の主力商品であります。比較的天候の影響を受けやすい商品であります。当第1四半期累計期間は、売上高は247億76百万円（前年同期比4.2%増）、売上総利益は84億81百万円（前年同期比5.1%増）、売上総利益率は34.2%となっております。

「生活用品」は、天候や競合他社との企業間競争が大きく影響している商品であります。当第1四半期累計期間は、売上高は158億4百万円（前年同期比0.9%減）、売上総利益は41億70百万円（前年同期比1.5%減）、売上総利益率は26.4%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、当社の差別化された商品であります。他の商品と同様に天候不順や競合他社との企業間競争の影響を受けております。当第1四半期累計期間は、売上高は127億45百万円（前年同期比2.2%増）、売上総利益は51億5百万円（前年同期比0.5%増）、売上総利益率は40.1%となっております。

「その他」は、カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他が含まれておりますが、異業種を含め、企業間競争の影響を大きく受けております。当第1四半期累計期間は、売上高は51億65百万円（前年同期比5.2%減）、売上総利益は14億88百万円（前年同期比1.2%減）、売上総利益率は28.8%となっております。

(2) 財政状態に関する定性的情報

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産の残高は、875億62百万円（前事業年度末比29億23百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比13億12百万円増）や商品の増加（前事業年度末比17億96百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,132億51百万円（前事業年度末比5億1百万円増）となりました。増加の主な要因は、有形固定資産の増加（前事業年度末比3億85百万円増）などによるものであります。

（流動負債）

当第1四半期会計期間末における流動負債の残高は、745億95百万円（前事業年度末比22億98百万円増）となりました。増加の主な要因は、未払法人税等の減少（前事業年度末比12億76百万円減）があったものの、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比29億92百万円増）などによるものであります。

（固定負債）

当第1四半期会計期間末における固定負債の残高は、113億40百万円（前事業年度末比5億35百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比4億29百万円減）などによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産の残高は、1,148億77百万円（前事業年度末比16億62百万円増）となりました。

（3）業績予想に関する定性的情報

現段階では平成24年5月11日発表時の業績予想の修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

（1）四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第1四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期累計期間の損益に与える影響額は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,676	26,989
売掛金	2,070	1,911
商品	54,161	55,958
その他	2,734	2,706
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	84,638	87,562
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	53,281	54,052
土地	41,334	41,318
建設仮勘定	940	675
その他(純額)	4,087	3,983
有形固定資産合計	99,644	100,030
無形固定資産	1,912	1,956
投資その他の資産	11,193	11,264
固定資産合計	112,749	113,251
資産合計	197,388	200,813
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	31,144	34,136
短期借入金	22,630	22,630
1年内返済予定の長期借入金	2,272	2,051
未払法人税等	3,132	1,855
未払金	3,410	3,960
設備関係支払手形	4,743	4,773
賞与引当金	1,030	1,575
役員賞与引当金	36	36
ポイント引当金	683	717
その他	3,213	2,858
流動負債合計	72,296	74,595
固定負債		
長期借入金	2,849	2,420
退職給付引当金	2,607	2,528
役員退職慰労引当金	1,372	1,385
資産除去債務	2,514	2,633
その他	2,533	2,373
固定負債合計	11,876	11,340
負債合計	84,173	85,936

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	105,443	107,111
自己株式	△0	△0
株主資本合計	113,204	114,872
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	9	4
評価・換算差額等合計	9	4
純資産合計	113,214	114,877
負債純資産合計	197,388	200,813

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	57,648	58,491
売上原価	38,756	39,245
売上総利益	18,891	19,246
販売費及び一般管理費	14,762	15,110
営業利益	4,129	4,135
営業外収益		
受取利息	7	7
受取配当金	5	4
受取手数料	57	54
受取家賃	56	60
その他	16	19
営業外収益合計	144	146
営業外費用		
支払利息	67	61
不動産賃貸原価	33	32
その他	9	5
営業外費用合計	110	98
経常利益	4,163	4,183
特別利益		
地役権設定益	—	18
特別利益合計	—	18
特別損失		
投資有価証券評価損	0	8
固定資産除却損	0	0
固定資産売却損	—	0
減損損失	177	232
特別損失合計	177	242
税引前四半期純利益	3,985	3,958
法人税等	1,841	1,769
四半期純利益	2,143	2,189

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	23,776	15,949	12,475	52,201	5,447	57,648	57,648
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	23,776	15,949	12,475	52,201	5,447	57,648	57,648
セグメント利益	8,072	4,234	5,078	17,384	1,507	18,891	18,891

- (注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

当第1四半期累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	四半期損益計算書 計上額 (注)2
	資材・DIY ・園芸用品	生活用品	家具・ホーム ファッション 用品	計			
売上高							
外部顧客への売上高	24,776	15,804	12,745	53,326	5,165	58,491	58,491
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	24,776	15,804	12,745	53,326	5,165	58,491	58,491
セグメント利益	8,481	4,170	5,105	17,757	1,488	19,246	19,246

- (注) 1. 「その他」は報告セグメントに含まれない商品区分セグメントであり、内容につきましては、「カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他」であります。
2. セグメント利益は、四半期損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

減損損失について、報告セグメントへの配分を行っていないため記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項はありません。

5. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位：百万円)

	前第1四半期累計期間 (自 平成23年4月1日) (至 平成23年6月30日)		当第1四半期累計期間 (自 平成24年4月1日) (至 平成24年6月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	23,776	41.2	24,776	42.4	104.2
生活用品	15,949	27.7	15,804	27.0	99.1
家具・ホームファッション用品	12,475	21.6	12,745	21.8	102.2
その他	5,447	9.5	5,165	8.8	94.8
計	57,648	100.0	58,491	100.0	101.5

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他